



[ロータリー特別月間]

3月は
水と衛生月間

2019 - 2020 年度

例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433
シキター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

地区活動目標

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 芳賀 裕
ガバナー補佐 西川 博 美
会長 千葉 政 行
幹事 石川 邦 俊

1. 人々が手を取り合うのを促そう。
 2. 行動しよう。
 3. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
 4. あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
- 「復興フォーラム(仮称)への支援と協力」

通 算

第35回 [3002] 例会報告 令和2年(2020)3月19日(木)

出席委員会報告

会員総数	40名
出席会員	24名
欠席会員	16名
出席率	60%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 千葉政行 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 菅野浩司 会員

◆四つのテストの唱和 秋葉一彦 職業奉仕委員

◆お客様紹介

株式会社ライトウェイ/

NSD株式会社代表取締役 SDGsアンバサダー 柳沼 綾 様

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 3月24日 斎藤孝裕 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



まだまだコロナウイルスがどうなっていくのか、オリ「ロータリーソング」「四つのテスト」オリンピックの聖火も届いて、来週から聖火ランナーが走るということですが、オリンピックもどうなるのか、今はごり押しで開催しても、やめても、延期をしても、色々な苦情が出そうで、選手の方からも、ごり押しでやっていいのかという苦情が大変きているということで困っているそうです。日本ではやっていただかないと景気が持たないという状況がありますので、これからどうなるのか、行く先を見守っていくしかないと思っております。

今日の朝、お客様である整備工場さんにお伺いしたら、フィリピンからの研修生が来ており、3年経った方は帰国して面接に行きたいそうなのですが、行けずに非常に困っているという状況のようです。このコロナで一番響いているのは、当館の島さんだと思いますが、キャンセルが続いているとお聞きしました。少なからず色々なところで問題が出ております。私は小さい寄り合いはやった方がいいのではないかと思っております。私も今は会合が無いので、誰かの誕生日を見つけては誕生会をしたり、小さなスナックの何周年記念など、そういうことはメンバーで支え合いながらやっていきたいと思っております。小人数で出て、色々な情報を仕入れて歩くのもいいのかなと思っております。

来週は、当クラブの夜間例会です。メンバーの所の遊乃里さんですので、ご出席いただければと思います。6月に予定されておりましたロータリーの世界大会も中止となりました。非常に残念ですが、いつ収まるかわからないコロナに怯えることなく、日々の活動をしていかななくてはならないと思っております。

◆幹事報告 石川邦俊 幹事

A. 来 信

- ①直前ガバナー 平井義郎 氏より 「新型コロナウイルスとの闘いにおけるロータリーの役割について」
- ②ガバナー 芳賀 裕 氏より 「ロータリーデー・イベント等開催に関するアンケート依頼」

◆スマイリングBOX 堀切孝敏 副委員長 【合計3-11】

千葉 政行会員 S ・柳沼様をお迎えして ・コロナに負けないように頑張ってください。
中野 哲郎会員 S ①妻に花を戴いて ②柳沼さんのスピーチ楽しみにしています。
斎藤 孝裕会員 S 柳沼様、本日はスピーチありがとうございます。
佐藤 真也会員 T ゲストに柳沼綾様をお迎えして

◆ゲストスピーチ 株式会社ライトウェイ/NSD株式会社代表取締役

SDGsアンバサダー 柳沼 綾 様



ご紹介に預かりました株式会社ライトウェイ、NSD株式会社を営んでおります柳沼と申します。宜しくお願いたします。私はSDGsのアンバサダーの認定を受けており、外務省が認定する全国48人の中で、福島県では私しか出ておりません。SDGsを広げるため、現在、普及活動を行っております。自分の店で勉強会を月に2回行っております。明日もございますので、ご興味がある方はお声かけ下さい。

今、なぜSDGsが注目されているのか、どうしてこういう目標が設定されたのか、また、背景の部分をお話しできれば、あとは何を実践したらいいのかは業種によると思いま



すので、まずは背景のご説明で今日は終わらせていただきたいと思います。SDGsはカラフルなマークですが、一個単位でも使われております。サブタイトルとして、「誰一人取り残さない」というのがSDGsの目標です。17個の目標があり、環境から人体、人権に関することまでありますが、これを達成すれば地球はすごく良い地球になるという目標が並んでおり、これを総合して『SDGs』と称します。何の略かと申しますと「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の頭文字と最後の“s”を取ったもので、これは世界中に通用するものです。2015年9月に国連サミットで採択され、その時に出席していた193カ国全ての代表がやりますと手を上げましたので、日本人としても取り組むべき目標です。2030年まで一旦区切りをつけまして、それまでの目標となっております。

私の自己紹介をいたしますと、私は郡山出身の35歳、年女の子年です。事業を7つ、細々とやっておりますが、会社が二つと栄町の飲食店、一般社団法人で子供たちの育成事業を行う団体もございます。SDGsの講演を行うようになったのは、私の原動力が「知りたいという探求心」と「誰かの助けになることをできればやりたい」というこの二つです。各地の事業で講師として行かせていただいたり、全国のアンバサダーたちとなかなか集まれないので、今流行りのZoom会議というオンライン会議で、よくデータのブラッシュアップをしております。

まず、地球が持続不能だという現状を知っていただかないと、何故やらなくてはいけないのかという考えに至らないと思いますので、そこからお話をいたします。地球の環境が今どうなっているのか、これが一番の背景にあります。今、持続不能だということに気づいていない人がたくさんおります。「プラネタリー・バウンダリー」と聞いたことがありますでしょうか。これは9つのデータがあって、例えば、窒素とリンの循環で言うと、土壌にリンが浸透してしまった時に、お金をかけてその土壌をクリーンにして、人が住める土壌にしようとしても戻せない。お金の力で戻すことができない、不可逆的な地球の環境悪化。これが9つのデータがあるのですが、総合して「プラネタリー・バウンダリー」と言います。その中で、三つは危険区域に入っているそうです。ある博士の見解によると、地球の平均気温があと1℃上昇してしまうと、北極などの氷が溶けだして海の面積が広くなり、海面が徐々に上昇します。例えば、北極の氷が全部溶けると地球全部で最低でも10m、最高で60mと言われております。日本では平均気温が、この30年間で4℃上がっています。人間はなかなかしぶといですが、弱い生物はどんどん絶滅してしまうので、今は13分に1種類くらいの動植物が知らずに絶滅しているそうです。この2030年くらいが、地球のターニングポイントだと言われております。

もともと戦前までは人間は5億人までいたことがなく、今の人口は地球が経験したことがない人口です。農業革命、産業革命を経て、戦争を経て、豊かになった瞬間に増えているのです。今は80億人です。1日21万人増加しており、2050年には100億人は軽く超えると言われております。アメリカのジョージア州に「ジョージア・ガイドストーン」という6mくらいの石碑が立っておりまして、ここに十戒が書いてあります。一番目が「人類は5億人以下を維持します」と宣言し、10番目に「私たちは地球の癌になりません」とありました。これは突然現れ、誰が作ったかわからないようで、こういう風に人口増加を危険だと思う人が一定数おります。明らかに地球の環境悪化が私たちに跳ね返っています。グレタさんも同じように地球の環境悪化を危険視して、それで怒っています。今、大人たちがやっている行動が、グレタさんが90歳になった時の孫にまで影響を与えるので、その子たちが2019年頃の大人たちを見て何というか、そういう風なことを彼女は言っています。もともと、環境のことを言い始めたのは1970年、ローマ・クラブから騒がれ始めまして、もっと言うと、これ以前は環境のことなどはあまり話題にも上らなかったわけです。72年に人類史上、初めての環境会議が行われまして、80年代にはようやく日本も環境会議に参加するようになりました。日本は遅いのです。地球サミットなどを経て、2000年にミレニアムサミット、SDGsの前身のミレニアム開発目標MDGsというものがありました。8つありましたが、これはほとんど途上国の目標でした。マラリア、エイズを無くしましょう、子供たちを学校に通えるようにしましょうなど、日本はあまり関係がなかったのです。ところが、地球はどんどん悪化していくので、これだけではどうにもならないともう一度会議が開かれまして、先進国も取り組めるように、みんなで誰一人取り残さずやりましょうということになったのがSDGsです。今、外務省を中心に猛プッシュしております。ハローキティやピコ太郎ともコラボしております。ところが、日本での認知度は2割くらい、経営者の方は4割くらいだそうです。これはすごく低くて、世界だとアジアですら市民の8割に知られております。ところが17個の達成度を調べてみると、日本は割と高いのです。そもそも義務教育だし、インフラは整っているし、飢餓の人はいないし、取り組む前にクリアされているからということで、日本が国連からここはちょっと危険で全然取り組まれていないと言われているのが13番の「災害対策、気候変動の対策」です。急な気候変動、急な悪天候、急な地震に備えがあるかということです。こういった目標が入っているのがSDGsです。本当に地球が平和になるために網羅された17個となっております。

この17個の目標があって、日本が抱える問題も多くあって、その一個一個に対して、私たちが家で簡単にできる取り組みや会社ですぐできる取り組みなど、たくさんございます。明日、二時間の勉強会がございます。もしご興味がある方はお声かけいただければ幸いです。今日はまず、このSDGsの17個に軽く触れることと、なぜこのような目標をやらなくてはならないのかという背景についてお話しさせていただきました。

貴重なお時間、ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長



クラブより記念品の贈呈